

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2004-153793(P2004-153793A)

【公開日】平成16年5月27日(2004.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2004-020

【出願番号】特願2003-334615(P2003-334615)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 5/91

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/91 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月12日(2005.8.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動画像データ及び音声データを一時的に記録するメモリと、動画像データ及び音声データを多重化して多重化データを得る多重化部と、録画開始の指示に基づいて多重化データを記録する記録部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び音声データを一時的にそれぞれ記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から遡った時点以後の動画像データ及び音声データを前記多重化部により多重化して記録することを特徴とする動画像・音声記録装置。

【請求項2】

動画像データ及び/又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び/又は音声データを記録する記録部と、動画像及び/又は音声を符号化するための符号化条件を変更する符号化条件変更部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び/又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から遡った時点以後の動画像データ及び/又は音声データを記録し、動画像データ及び/又は音声データの符号化条件が前記符号化条件変更部により変更された際に、前記メモリに一時的に記録された動画像データ及び/又は音声データを消去することを特徴とする動画像・音声記録装置。

【請求項3】

動画像データ及び/又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び/又は音声データを記録する記録部と、動画像及び/又は音声を他の動画像及び/又は他の音声に切り換える切換部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び/又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から遡った時点以後の動画像データ及び/又は音声データを記録し、動画像及び/又は音声が他の動画像及び/又は他の音声に前記切換部により切り替えられた際に、前記メモリに一時的に記録された動画像データ及び/又は音声データを消去することを特徴とする動画像・音声記録装置。

【請求項4】

動画像データ及び/又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び/又は音声データを記録する記録部と、動画像及び/又は音声を

符号化するための符号化条件を変更する符号化条件変更部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から所定時間だけ遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、前記所定時間を、動画像データ及び／又は音声データの符号化条件が前記符号化条件変更部により変更された時点から前記録画開始の指示の時点までの時間長以下に変更して設定することを特徴とする動画像・音声記録装置。

【請求項 5】

動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び／又は音声データを記録する記録部と、動画像及び／又は音声を他の動画像及び／又は他の音声に切り替える切換部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から所定時間だけ遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、前記所定時間を、動画像及び／又は音声が他の動画像及び／又は他の音声に前記切換部により切り替えられた時点から前記録画開始の指示の時点までの時間長以下に変更して設定することを特徴とする動画像・音声記録装置。

【請求項 6】

動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び／又は音声データを記録する記録部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から所定時間だけ遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、さらに前記所定時間を示す情報を含む付加データを当該動画像データ及び／又は音声データに関連付けて前記記録部に記録することを特徴とする動画像・音声記録装置。

【請求項 7】

動画像データ及び音声データを記録部から読み出して再生する動画像・音声再生装置であって、前記記録部に記録された時間情報を解析する解析部と、動画像データを表示する表示部とを備え、前記時間情報として録画開始の指示時点を示す指示時刻を前記解析部により解析し、前記動画像データの中から、該指示時刻に存在する画像フレームあるいは該指示時刻の近傍に存在する画像フレームを縮小し、前記表示部に表示することを特徴とする動画像・音声再生装置。

【請求項 8】

動画像データ及び音声データを記録部から読み出して再生する動画像・音声再生装置であって、音声データの出力レベルを設定する出力レベル設定部を備え、前記出力レベル設定部は、再生開始の指示時点から所定の期間だけ音声データの出力レベルを所定値以下に設定することを特徴とする動画像・音声再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

第1の技術手段は、動画像・音声記録装置において、動画像データ及び音声データを一時的に記録するメモリと、動画像データ及び音声データを多重化して多重化データを得る多重化部と、録画開始の指示に基づいて多重化データを記録する記録部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び音声データを一時的にそれぞれ記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から遡った時点以降の動画像データ及び音声データを前記多重化部により多重化して記録することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

第2の技術手段は、動画像・音声記録装置において、動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び／又は音声データを記録する記録部と、動画像及び／又は音声を符号化するための符号化条件を変更する符号化条件変更部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、動画像データ及び／又は音声データの符号化条件が前記符号化条件変更部により変更された際に、前記メモリに一時的に記録された動画像データ及び音声データを消去することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

第3の技術手段は、動画像・音声記録装置において、動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び／又は音声データを記録する記録部と、動画像及び／又は音声を他の動画像及び／又は他の音声に切り換える切換部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記録画開始の指示の時点から遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、動画像及び／又は音声が他の動画像及び／又は他の音声に前記切換部により切り替えられた際に、前記メモリに一時的に記録された動画像データ及び音声データを消去することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

第4の技術手段は、動画像・音声記録装置において、動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び／又は音声データを記録する記録部と、動画像及び／又は音声を符号化するための符号化条件を変更する符号化条件変更部とを備え、前記メモリには、前記録画開始の指示に関わりなく動画

像データ及び音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記記録画開始の指示の時点から所定時間だけ遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、前記所定時間を、動画像データ及び／又は音声データの符号化条件が前記符号化条件変更部により変更された時点から前記記録画開始の指示の時点までの時間長以下に変更して設定することを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

第5の技術手段は、動画像・音声記録装置において、動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び／又は音声データを記録する記録部と、動画像及び／又は音声を他の動画像及び／又は他の音声に切り替える切換部とを備え、前記メモリには、前記記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記記録画開始の指示の時点から所定時間だけ遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、前記所定時間を、動画像及び／又は音声が他の動画像及び／又は他の音声に前記切換部により切り替えられた時点から前記記録画開始の指示の時点までの時間長以下に変更して設定することを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

第6の技術手段は、動画像・音声記録装置において、動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録するメモリと、録画開始の指示に基づいて動画像データ及び／又は音声データを記録する記録部とを備え、前記メモリには、前記記録画開始の指示に関わりなく動画像データ及び／又は音声データを一時的に記録し、前記記録部には、前記記録画開始の指示の時点から所定時間だけ遡った時点以降の動画像データ及び／又は音声データを記録し、さらに前記所定時間を示す情報を含む付加データを当該動画像データ及び／又は音声データに関連付けて前記記録部に記録することを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

第7の技術手段は、動画像・音声再生装置において、動画像データ及び音声データを記録部から読み出して再生する動画像・音声再生装置であって、前記記録部に記録された時間情報を解析する解析部と、動画像データを表示する表示部とを備え、前記時間情報として録画開始の指示時点を示す指示時刻を前記解析部により解析し、前記動画像データの中から、該指示時刻に存在する画像フレームあるいは該指示時刻の近傍に存在する画像フレームを縮小し、前記表示部に表示することを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

第8の技術手段は、動画像・音声再生装置において、動画像データ及び音声データを記録部から読み出して再生する動画像・音声再生装置であって、音声データの出力レベルを設定する出力レベル設定部を備え、前記出力レベル設定部は、再生開始の指示時点から予め定めた所定の期間だけ音声データの出力レベルを予め定めた所定値以下に設定することを特徴とする。